

現場主体の安全啓蒙活動を

北陸ガラス外装クリーニング協会

労働安全衛生大会で

北陸ガラス外装クリーニング協会（齋藤富治会長）は14日、2014年度労働安全衛生大会を金沢市の金沢勤労者プラザで開催した。

大会には16人が参加。冒頭、杉本健一副会長が「現場で働き、常に危険と背中合わせであるスタッフを災害に巻き込まないためにも、安全に対する意識を高める働きかけ

を行っていただきたい。現場を仕切る責任者が中心となり、全員参加型による現場主体の安全啓蒙活動が行われることよって、労働災害ゼロであり続けることが当協会の究極の目標だ」とあいさつした。

藤井万博安全教育委員長が今年度の労働災害について報告した後、今年度の安全標語受賞作品の



労働安全衛生への意識高揚を図った大会

発表と表彰が行われた。今年度は応募40作品の中から、最優秀賞に松澤恵子さん（富山総合ビルセンター）の「しっかり締めよう命綱 君と家族を守る綱」が輝いたほか、優秀賞に堀田鳳陽さん（オフィスケ

イ）の「安全第一で 磨くガラスに くもりなし」が選ばれた。佳作には杉本健一さん（アドバンス

北陸サービス、布目光潤さん（不二ビル）、田口誠さん（同）、山田正和さん（アドバンス北陸サービス）、小柴英樹さん（不二ビル）が選ばれた。

この後、石川労働局の河野英俊専門官がビル窓ガラス等の清掃作業における災害防止対策をテーマに講演した。